

近畿大学病院で細菌培養検査を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院中央臨床検査部(以下、当科)では、「近畿大学病院における nutritionally variant streptococci (NVS) の分離状況と薬剤感受性」という臨床研究を行っています。そのため、当院にて細菌培養検査を受けられ、NVS が分離された患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)

NVS は感染性心内膜炎を起こす菌として重要です。この研究では、近畿大学病院における NVS (*Abiotrophia* 属や *Granulicatella* 属の総称) の分離状況と菌種別の薬剤感受性、並びに分離された患者さんの臨床背景について調べることを主な目的としています。そのため、当院で細菌培養検査を受けられた患者様のうち、NVS が分離された方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用する情報の項目

- 患者背景(年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後に関する情報)、臨床検査結果(血液検査、培養検査、病理検査、画像検査)
- すべての情報は診療録から取得する

③ 提供する情報を用いる研究に係る研究責任者(多機関共同研究にあつては、研究代表者)の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

近畿大学病院 古垣内 美智子

④ 利用する者の範囲

近畿大学病院：古垣内 美智子、上裕 俊法、久斗 章広、吉田 耕一郎

⑤ 情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院 中央臨床検査部 古垣内 美智子

電話：072-366-0221（内線：2193）

以上